
釣り方について考える (2017/9/5~2021/1/13の釣り日記からのまとめ)

棚を探る

釣り始め、または、棚ぼけ

- 竿を下げて何巻き目で当たるかを見る。当たっても更に下の棚を調べる。初めて釣り場に入ったときや棚ぼけしたときに有効である。(HPより) 釣り場には行ってすぐに試みた。7~8回目で小さなバイトがあった。その下にはバイトがない。もう一度試みるとまったくバイトがない。宙層にいないということ。表層でマスが動いている。ときどき試みるも同様の状況だった。(2018/5/3)
- ネットで、「モカDRを巻き続けて当たるところを探る。何巻き目で当たったかを参考にする」とあったことから、モカDR(SS)S.M6を選び、着水と同時に巻き始めた。4巻き目で当たりがあったが掛からず。同じことが2回あった。4巻き目の深さはどれくらいだろうか。その後、やっと1尾ゲットした。(2019/12/20)
- 釣れない時間が続いたときなど、何をしたら良いか分からなくなったときには、モカ・プチモカをステディリトリブをした。これがよい。さわりに来たり、ゲットできたりして、この情報から次の展開を考えることができた。原点に立ち返る、スタート時点に立ち戻るのがよい。(2018/4/1)
- 棚が分からなくなったら、パイロットルアーとしてモカSR(SS)ミドピーノやプチモカSR(SS)ミドピーノを早く使うこと。(2020/11/26)
- どこにやる気のあるマスがいるのか調べようと、ミドピーノを試した。(2021/1/13)
 - ・モカ ラトル SR(SS) ミドピーノ風 1尾
 - ・プチモカSR(SS) ミドピーノ 2尾
- パイロットルアーとしてモカSR(SS)ミドピーノを使ったことは良かった。